

平成29年度PBL活動報告



PBL 課題解決型授業 2017

Project Based Learning



PBL 課題解決型授業

Project Based Learning

PBL課題解決型授業とは、企業・行政・地域と連携し、それぞれが抱える実践的な課題を、学生の力によって解決する試みです。学生自身が取り組みの成果を企業などにプレゼンテーションします。

- ・外大講師
- ・企業講師



就職を実現する力

- 課題解決力
- 企画力・提案力
- 情報収集力・発信力
- コミュニケーション力

学生の力で！



団結、絆、チームワーク！

社会で生き抜く力

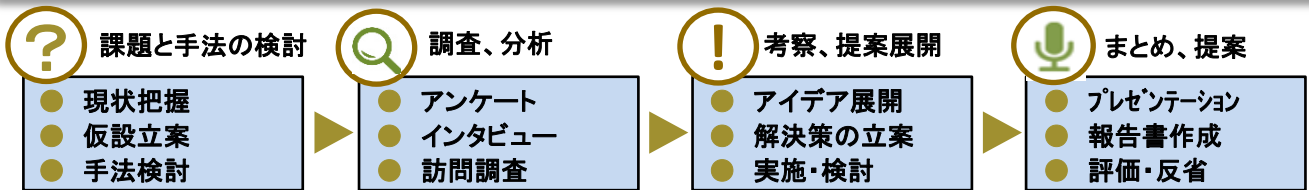
- チームワーク
- 団結力、強い絆
- 壁を乗り越えられる力
- みんなで得た達成感



目標(ゴール)



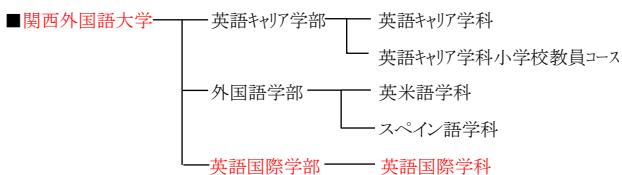
授業の基本的な進め方



平成24～29年度連携企業・行政・地域実績

平成24年度	■ 京阪電気鉄道(株)	■ 大阪府 商工労働部	■ (株)叶匠壽庵	■ 千日前道具屋筋商店街
平成25年度	■ 全日本空輸(株)	■ サントリー酒類(株)	■ パナソニック(株)	■ (株)トンボ
	■ (株)叶匠壽庵	■ (株)大阪国際会議場	■ 大阪府 商工労働部	
平成26年度	■ ANAセールス(株)	■ 大阪水上バス(株)	■ (株)叶匠壽庵	■ 大阪府 商工労働部
	■ (株)トンボ	■ (株)乃村工藝社	■ ザ・パック(株) / (株)あみだ池大黒	
平成27年度	■ ANAセールス(株)	■ 大阪水上バス(株)	■ 京阪園芸(株)	■ (株)あみだ池大黒
	■ 枚方文化観光協会	■ 天王寺動物園	■ 大阪府 商工労働部	
平成28年度	■ ANAセールス(株)	■ 大阪水上バス(株)	■ (株)JTB西日本	■ コニカミノルタジャパン(株)
	■ 枚方鍵屋資料館	■ 天王寺動物園	■ 大阪府 商工労働部	■ (株)サラヤ
平成29年度	■ ANAセールス(株)	■ 大阪水上バス(株)	■ (株)JTB西日本	■ コニカミノルタジャパン(株)
	■ (株)レオパレス 21	■ 天王寺動物公園	■ 大阪府 商工労働部	■ (株)ファミリア

関西外国語大学 学部・学科構成



■ 関西外国語大学 短期大学部
英米語学科

- 大学院
- 留学生別科 (海外からの留学生対象)



関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部

KANSAI GAIDAI
KANSAI GAIDAI UNIVERSITY
KANSAI GAIDAI COLLEGE

[中宮キャンパス]
〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16番1号
TEL. 072-805-2801(代) FAX. 072-805-2890
[御殿山キャンパス・グローバルタウン]
〒573-1008 大阪府枚方市御殿山南町6番1号
TEL. 072-805-2701(代) FAX. 072-805-2760

<http://www.kansai-gaidai.ac.jp>



平成29年度、8つの連携先の課題解決に取り組み、 私たちは成長し就業力を獲得しました！！

連携先



ANAセールス(株) & (公財)大阪観光局

テーマ 東南アジアからの観光客誘致と大阪市の魅力ある旅行素材の発掘

訪日外国人客の大阪への誘致で更なる活性化を

近年、訪日ビザの発給要件の緩和や航空便数の増加などを背景に、東南アジア諸国からの訪日旅行客数は持続的に増えており、今後も伸び続けると予測されている。そこで我々は、大阪府全域へ訪日東南アジア人旅行客を誘致する為の解決策を提案すべく、ベトナム・インドネシア・マレーシアの三カ国にターゲットを絞り、活動に取り組んだ。

東南アジア人向け旅行プランの作成と旅行素材の発掘

連携先のANAセールスからは、大阪への東南アジア人誘客のための旅行商品造成と、大阪観光局からは、大阪府の隠れた新旅行素材の発掘を依頼された。そこで、三カ国のニーズを把握すべく、関連文献の読み込みや、三カ国現地でのアンケートの実施、観光関連施設への聞き取り調査などを行った。そこで判った各国のニーズと大阪の現状を踏まえて、成果物を作成した。



フィールドワーク①



懇親会



フィールドワーク②



報告会リハール

取り組みを終えて



英語国際学部
中村 優香さん

PBLを通して、考え抜く力が身につきました。学生が主体となる授業で、課題解決のプロセスから、最終成果物をどのような形にするのかまで、全てを学生自らの力で考えました。20通りの価値観や考え方があり、意見がぶつかることもありましたが、何度も議論を重ねたことで最終成果物を完成させることができました。



ANAセールス(株)
訪日旅行部
部長 小林 正保様

訪日をテーマにしたPBLは今年で4回目になります。今回は大阪観光局の協力の下、3ヶ国からの需要を汲み取り、「リピーター」を対象に大阪府の観光を商品化すべく開発中です。履修生の皆さんが集めた情報やアイデアが形になり、大きな成果になると確信しています。この経験が、将来の社会人生活にプラスになれば幸いです。

連携先



大阪水上バス 株式会社

テーマ サンタマリア号船内で販売する飲食物メニューの新規開発

アジア系観光客をターゲットに商品を企画

サンタマリア号にしかない商品を開発しようとの考えで、全員で議論し、「夏を感じられる商品やサンタマリア号ならではの商品」を企画構想の軸としてアイデアを出し合い、「W抹茶かき氷」や「お宝ソフト」など8つの企画案を考案しました。大阪水上バスさんの協力を頂きながら、商品の試作・検証・改善を何度も重ね、試作品をアジア系観光客に試食して貰いました。

良好なテスト販売の結果、今夏の商品化が決定

試作品の試食後に出た観光客の評価や問題点を元に、最終的にサンタマリア号オリジナル商品として「お宝ソフト」と「パイレーツ・オブ・ザ・サンタマリア」に絞り込みました。お宝感や海の碧さを感じて貰う為、色合いなどにこだわり何度も試作・改良を重ね、テスト販売にかけました。結果、多くのアジア系観光客に高い評価を頂き、今夏の商品化が決定しました。



懇親会



水上バスの方と試作

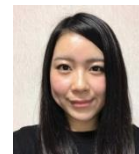


テスト販売



報告会の準備

取り組みを終えて



英語国際学部
渡辺美紅さん

始まった当初はクラスメイトのほとんどが初対面で意見を出しづらかったのですが、何度も集まり活動することでアイデアを出し合うことが出来、商品化が実現しました。PBLの活動を通じて、複数人で1つのことを成し遂げるには、信頼関係の構築が大切だと学びました。この経験は就職後にも活かす事が出来ると思います。



大阪水上バス株式会社
代表取締役社長
久ノ坪 宏司様

今年からサンタマリア船内売店を自社営業することとなり、それに合わせた新商品の提案を頂きました。弊社も初の経験で学生の皆さんとの二人三脚のPBLでしたが、試作の段階から商品化に向けて何度も修正を加え、試験的に実販売を行い、好評価を得ました。今夏に予定している販売がとても楽しみです。

平成29年度、8つの連携先の課題解決に取り組み、 私たちは成長し就業力を獲得しました！！

連携先



大阪府 商工労働部

テーマ 就職活動の視野を広げ、中堅・中小企業の魅力を発信する

中堅・中小の魅力発信を、 これまでにない方法で

多くの優良な中堅・中小企業があるにも関わらず、大手企業ばかりを志望する学生が多い。中堅・中小企業の魅力をどう発信するか。このテーマに取り組んで6年目、「これまでにない解決策を」という大阪府庁からの指示のもと、「就活ガイドブック」の作成に挑戦した。雑誌コンセプトの策定、企業への取材依頼や訪問、何度も編集を積み重ね、全員一丸となって雑誌作成のプロセスを体験した。

「女性に優しい」 就活ガイドブックの作成

ガイドブックのターゲットは女子就活生、コンセプトは「女性にやさしい会社の見つけ方」。その上で、テイストはファッション雑誌のようなものとした。中堅・中小企業と女性を結びつける斬新な取り組みとなった。掲載企業は13社、500部を作成した上で、就職ガイダンス等において本学学生に配布、先生方からも賞賛の声を頂いた。協力を頂いた企業からも「思った以上の出来栄え」との評価を頂いた。



ガイドブックの編集



作成したガイドブック



企業取材



授業風景

取り組みを終えて



英語国際学部
岡本 千夏さん

「今までにない思い切ったことを」という声から活動を開始し、ガイドブック作成という斬新な試みに何度も挫折をしました。目に見えないものをカタチにし、学生に希望を掴んでほしいという思いを込め、最高の1冊が完成しました。多くの企業様と関わり、仕事に対する熱い思いや責任感を肌身で感じ、今希望に満ち溢れています。



大阪府商工労働部
雇用推進室 人材育成課
産業人材育成グループ
主査 南 千鶴子様

大阪には数多くの中小企業が集積しています。その魅力を発掘すべく、皆様には企業訪問などを行っていただきました。中小企業の情報は少なく、試行錯誤も多かったと思いますが、オンリーワンの就活ガイドブックが完成したことは素晴らしいと思います。チームで一つのものを作り上げた経験を活かし、今後ご活躍されることを期待しております。

連携先



天王寺動物公園

テーマ 日本庭園「慶沢園」のインバウンド戦略を考える

現状把握から 2つのインバウンド戦略へ

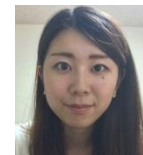
天王寺動物公園内にある日本庭園「慶沢園」の外国人集客率の向上を目指し、まずは外国人来園者を対象としたアンケートを3カ国語で実施、現状把握を行った。アンケート結果の集計分析により、2つのインバウンド戦略を構想。来園者の満足度向上を目的とした園内パンフレットの改訂、そして、知名度向上策としてのPR動画の制作に取り組んだ。

「癒し」を核とした プロモーション

パンフレット・動画とも、外国人が今日本に最も求めている「癒し」を戦略の核にした。今まで天王寺動物公園の管轄下にありながら、職員の方にはさえない現状があまり知られていなかった慶沢園の魅力周知策を形にした。複数バージョンの動画を制作、SNSへのアップロードを試みた。パンフレットについてはパイロット版を制作・配布し、来年度以降の案として前向きに検討していただいた。



取り組みを終えて



英語国際学部
新井 幸恵さん

日本庭園の外国人集客率の向上という、あまり掴み所のない難しいご依頼を企業様からいただきましたが、活動を進めていく中で大切にすべき部分に気づき、改善案を提案することができました。このように企業の方と密に関係性を持って取り組めたことは、仕事を想定する上で大事な経験になりました。



天王寺動物公園事務所
管理担当
山元 美沙様

天王寺公園内にある日本庭園「慶沢園」の外国人観光客に向けたPRを考えていただきました。アンケート調査により客層や求められるものを分析し、リーフレットや紹介動画の作成という結果につながりました。考えたものを形にする、という一連の流れを経験できたことは皆様にとって大きな力になったと思います。今後の活躍を期待しています。



フィールドワーク①



フィールドワーク②



作成した動画のワンシーン



作成したパンフレットのワンシーン

平成29年度、8つの連携先の課題解決に取り組み、 私たちは成長し就業力を獲得しました！！

連携先



株式会社 レオパレス21

テーマ 若者への入居促進につながる新たなタッチポイントの創出

学内アンケート調査から 問題点を把握

「若者への入居促進につながる新たなタッチポイントの創出」を考えるに当たって、まず問題点をつかむため、学内アンケート調査を行ったところ、以下の2点が浮かび上がった。①学生が物件を決める際は保護者の意見が強く反映されること。②レオパレス21がどういふ会社かあまり知られていないこと。これらを軸に3つのグループに分かれ、課題解決のための企画を考案した。

3グループに分かれ 企画を考案

試行錯誤の末、次の3点にまとまった。①部屋探しに接点のない人へ、レオパレス21のイメージ付けのためにキャラ弁コンテストの開催。②レオパレス21の魅力を最大限生かすためのCM作り。③一人暮らし体験を行い、「レオパレス21＝便利な一人暮らし」イメージを周知。これらによって、これまで部屋探しに接点のなかった年齢層にもアプローチするとともに、レオパレス21の魅力を理解していただけると確信している。



取り組みを終えて



英語国際学部
天神林 遥さん

PBLという授業の最も難しい点としては、正解のない問題に対し、自分たちで道を切り開き課題解決へ導くことであつたと感じています。慣れない授業形式に、どのように取り組み、進めていけば分からず詰まることもありましたが、皆で意見を出し、検討し続けたことが、最終的な提案内容に繋がったのだと確信しています。



株式会社レオパレス21
西日本第1学校法人営業部
副部長 横山 雅志様

答えのない課題に対し、協力しあい主体的に取り組んでいただきました。キャンパスでのアンケートを元に仮説立てを行い、当社企画部門では発想できないような案もいただきました。今後、管轄部署で確認の上、可能なものは実施していきたいと考えております。ターゲットに対し情報収集を行い、アクションプランを考案することは、社会に出た際にどんな業種であっても活かされる財産となります。皆さんの飛躍を心より願っております。

連携先



コニカミノルタジャパン 株式会社

テーマ 働き方改革

今、なぜ 働き方改革を行うのか

今後ますます少子高齢化が進んでいく中、わたしたちがこれまでと同じような豊かな暮らしを送るためには、働き方を変え効率化を図る必要がある。いただいたテーマ「働き方改革」は、政府も最優先課題として取り組んでいるものである。授業では、まずはじめに働くとはどういうことなのか、日本人の働き方にはどのような特徴があるのか、などを調べた。

学生目線で 働き方改革を提案！

働き方改革を進めている企業や地方自治体への調査および連携企業営業部の方々へのアンケート結果から、ポイントは女性活躍という点がわかった。そのため、育児中の女性が安心して働ける託児所の問題点を整理するとともに、社内でのランチ会やラインの有効活用を考えた。さらに有給休暇の取得率をあげるため、「52火実るた(コニカミノルタ)」という名の特別休暇の創設も提案した。



取り組みを終えて



英語国際学部
國枝 映里さん

PBLでは、答えのないテーマに対して答えを見つけ出すことの難しさを痛感しました。多くの資料を読み込み、各企業に問い合わせ、「働き方改革」について多くの知識を得ることができたことは、今後の就職活動に役立つものです。各チームで協力し、意見交換を何度も重ね、アドバイス合いながら、一つの発表を作りあげることができたのは大きな達成感でした。



コニカミノルタジャパン株式会社
西日本営業統括部
第2営業部
部長 大中 敏晴様

現在、当社でも取り組んでいる「働き方変革」について1年間議論していただきました。世間においても働き方改革の情報がたくさん流れている中で、若い世代の皆さまの目線で働き方改革を考えていただきました。すぐに受け入れられることは困難かもしれませんが、これから社会で活躍していく皆様が、より充実した人生を送られ、日本の社会を引っ張る人材として、活躍される事を期待しております。頑張ってください。

平成29年度、8つの連携先の課題解決に取り組み、 私たちは成長し就業力を獲得しました！！

連携先



株式会社 JTB西日本

テーマ 新しい“大阪”の魅力を創造する観光まちづくり

大阪の新たな魅力の創造につながるプランの提案

私たちは4グループで「OSAKA観光まちづくりコンテスト」に向け、観光を通じて地域全体が大きく活性化する計画作成を目指した。

- ①チーム「Happier Foreigner Planner」は泉佐野市を対象に関西空港を利用する訪日外国人に「和のイロドリ田舎旅」を提案
- ②「能勢の魅力を伝え隊」は能勢町を対象とし「女子旅・ドライブ・自然」をコンセプトにグランピングや豊かな自然を目玉にしたプランを提案
- ③「小島ゼミチーム高槻」は高槻市を対象とし「食・自然・体験・美容」をコンセプトに季節ごとの観光プランを提案
- ④「チーム おまちなね」は豊中市を対象とし「写真映え・体験・電車旅」をコンセプトに駅周辺のぶらり旅などを提案

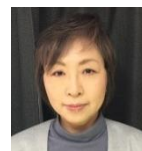


取り組みを終えて



英語国際学部
大元 みゆうさん

創造性のある地域活性化プランを作成するためその地域にしかない新たな観光資源を探し、独創的なアイデアを考えるのに苦労しましたが、自分の意見を進んで発表する積極性やコミュニケーション能力、協調性が身に着きました。時にはぶつかり合いながらもチーム一丸となって課題解決に取り組むことができるのがPBLの一番の良さだと思います。



株式会社 JTB西日本
地域交流ビジネス推進室
観光開発シニアプロデューサー
佐藤 郁子様

訪日外国人観光客で賑う大阪ですが、リピーター対策や広域への誘客など課題もあり、履修生の皆さんに解決策について考えて頂き、インスタの活用など若者らしい視点から様々なご提案を頂きました。これからの観光市場は世界的にも皆さんと同じ「ミレニアル世代」が牽引していくと言われています。今回の経験がきっかけとなり、観光産業の担い手に意欲ある若い人材が増えることを期待します。

まちづくりコンテストとその成果

コンテストでは、チーム「Happier Foreigner Planner」が本選出場を果たし、プレゼン賞を獲得。また他の3チームもポスターセッションに選出され、それぞれ地域活性化プランを発表した。

連携先



株式会社 ファミリア

テーマ 10年後のファミリア商品を考える

学生ならではの提案でファミリアの魅力伝える

ベビー、子ども関連企業で有名なファミリア。しかし、世代や地域によって認知度の差が激しいことに気付いた。そして企業研究を進めていく上で、ファミリアの赤ちゃんを大切に思う気持ちから生まれ、細部までこだわった愛情品質をより多くの人に知ってもらいたいと考えた。そして私たちは①新たなギフトボックスの提案、②アニメーションの作成、③更なる中国進出案の提示の3つのチームに分かれて考察と提案に取り組んだ。

ファミリアがいつまでも愛されるように…

3つのアイデアを決定するまでに、ファミリアの持つ伝統文化やこだわりを守りながら、新しいアイデアを生み出すことに苦労した。時には議論が行き詰まったり、対立したこともあったが、お互いが協力して良いアイデアを生み出すことができた。1年間かけて取り組んだ結果、ファミリアをいつまでも覚えてもらい、また日本各地だけでなく世界の人々にも知ってもらえるようなアイデアを創り上げることができた。

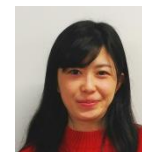


取り組みを終えて



英語国際学部
山口 博子さん

PBLの活動を通して、自分の意見を伝える難しさや、相手の意見を受け入れる難しさを学びました。これから社会の出た時に一番多くぶつかる壁を経験できたのはPBLの活動があったからこそだと思います。一年間共に切磋琢磨し合った仲間と、協力して下さった企業の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



ファミリア株式会社
MD部
ディストリビュート課
村上 恵理子様

10年後の未来を想定し、イメージを具現化する。掴みどころが無く難しい課題でしたが、外大生ならではの着眼点と行動力で悩みながらも一生懸命取り組んでいただいたのが印象的です。自由な発想の中でも軸を通し素直な提案をしていただき有意義でした。今回の経験がどこかで皆様の将来の一助となれば幸いです。